

カリキュラム Curriculum	文学研究科MC		ナンバリング Numbering	
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for		種別 Subject type
1212	インド思想史 <History of Indian Thoughts>			講義
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)	開講期 Semester	開講時間帯 Day and time	
インド文学	和田 壽弘(WADA Toshihiro)	前期	火曜：3限	
講義題目 Title	新ニヤーヤ学派の解脱論			
単位 Credit	2			
備考 Others				
履修条件 注意事項 Requirements for registration	サンスクリット中級の知識を必要とする。			
授業の目的 Purpose	<p>インドで最も勢力のある哲学学派はヴェーダーンタ学派不二元論派であり、ヒンドゥー教思想を支える大きな柱の一つである。この派の理論を学習することによりインド文化の宗教的背景を学ぶ。これは「社会科目」に必要な宗教学的素養を培うことになる。</p> <p>ヴェーダーンタ学派は「インド唯名論」に分類されるが、これと対立する「インド実在論」に分類される新ニヤーヤ学派の解脱論との対比をしながら授業を進める予定である。</p> <p>The aim of this course is help students acquire what is the beatitude/emancipation of Hindus such as Vedantins taking Indian nominalism and Naiyayikas taking Indian realism.</p>			
授業の内容 授業の方法 Content	<p>ヒンドゥー教に対して最も有力な神学的基礎を与えたヴェーダーンタ学派不二元論派の綱要書『ヴェーダーンタ・パリパーシヤ』(ブラフマン一元論学解説)7・8章のサンスクリット原典を読む。演習形式で読むので、学生は予習を必要とする。不二元論派の基本的な考え方を説明しながら文法事項も押さえながら進ので、正確に意味と汲み取る姿勢を重視する。</p> <p>授業計画</p> <p>第1回：ヴェーダーンタ学派と不二元論派 第2回：『ヴェーダーンタ・パリパーシヤ』の内容 第3回：ヴェーダーンタ学の主題 第4回：二重の真理説とブラフマン 第5回：世界創造 第6回：世界期滅 第7回：天啓聖典と世界構造 第8回：純粹精神 第9回：大文章の解釈方法 第10回：ヴェーダーンタ学の目的 第11回：解脱 第12回：ブラフマンの直証 第13回：解脱の達成手段 第14回：有属性ブラフマンと無属性ブラフマン 第15回：総括 定期試験</p>			
教科書 テキスト Textbooks	Vedanta Paribhasa of Dharmaraja Adhvarindra, by Swami Madhavananda, Calcutta: Advaita Ashrama, 1989.			
参考書 References	佐藤裕之『アドヴァイタ認識論の研究』山喜房仏書林、2005。			

受講生の 自宅学習 Preparation and review	予習と復習は必須である。
成績評価の 方法と基準 Evaluation	試験 5 0 %、平常点（予習の状況と授業中の質疑を評価対象とする） 5 0 %。
連絡方法 Contact information	E-mail: twada@lit.nagoya-u.ac.jp Phone : 052-789-2278